

初期研修医募集案内

JUNIOR RESIDENT



ACCESS

地方独立行政法人 堺市立病院機構
堺市立総合医療センター

〒593-8304 大阪府堺市西区家原寺町1丁1番1号
TEL:072-272-1199(代表)
FAX:072-272-9911(代表)

- JR阪和線津久野駅より徒歩約5分
- 阪和自動車道「堺IC」より約10分
阪神高速道路15号堺線「堺出口」
高架道を出口まで進み
国道26号線より約15分



<https://www.sakai-city-hospital.jp/>

大阪 — 難波 — 天王寺 — 津久野

- 天王寺まで約25分 ●難波まで約40分
- 大阪まで約50分



オンライン病院見学・
プログラム説明会のご案内

堺市立総合医療センターでは、オンラインによる病院見学や説明会を実施しています。
詳しくはWEBサイトをご覗ください。

〈問い合わせ先〉
臨床教育研究センター
TEL:072-272-9950 FAX:072-272-9911
E-mail:rinkyo@sakai-hospital.jp

今、求められるのは
“総合力のある医師”



教え教えられる文化の中で 優れた人格を持ち 世界の医学・地域の医療に貢献する 総合力のある医師を 堺をあげてチームで育む

当院は各科、各部門の垣根が低く、
自由に意見交換できる研修環境があります。
ベッドサイド教育、カンファレンス・学習会などもたくさん実施し、
お互いに教え合って高めていく文化があります。
各領域の日常よく遭遇する疾患をバランスよく受け持つことができ、
技能・知識をきちんと身につけることができます。
当院での2年間の研修で、社会が必要としている医療を感じ、
大学での医学研究の動機としたり、
地域の医療の指導的立場になる礎としていただきたいです。
「堺をあげてチームで育む」という言葉には、
堺市立総合医療センターの多職種が
一丸となって研修医のみなさんを育むという気持ちと、
堺市民のみなさま、堺の地域包括ケアに関わるみなさまの
ご協力によって育むという気持ちを込めています。

院長あいさつ

当院では「優れたジェネラリストでなければ、スペシャリストにはなれない」をスローガンに、幅広く診療できる医師の育成を行ってきました。今後、求められるのは医療の知識やスキルだけでなく、「人間力」を持ち合わせる医療人です。色々なアイデアをチームで話し合い、互いに高め合いながら、「人間力」のある医師を育成していきたいと考えています。時代や地域が必要とする医療を肌で感じながら、“地域や市民に貢献できる医療を提供したい”という心を研修を通じて養い、理想的な急性期・臨床研修病院をともに創り上げていきましょう。

病院長 大里 浩樹



当院の 初期研修の 特徴

当院は基幹型
臨床研修病院として、
毎年多くの初期研修医を
受け入れています。



症例が豊富

当院は堺市で唯一の救命救急センターを有しており、完結した急性期医療を行うことができる事が大きな特徴です。幅広い診療科を設置していることにより、「広さ」や「深さ」を知ることのできる質の高い初期研修プログラムでじっくり学ぶことができます。

元気な研修医

研修医が主導で行っているカンファレンスも多数あり、毎日が学びの機会にあふれています。診療科や年代の垣根を超えて、研修医とスタッフ、医師が仲が良いのも特徴です。休憩時間の何気ない会話から白熱したディスカッションが医局の中に響き渡ります。

教え教えられる文化

自身の学んだことを同僚・後輩に積極的に教え、お互いに高め合う環境づくりを推奨する「教え教えられる文化」が根づいています。個人の努力だけでなく、さらに個人の枠を超えて『文化』として根づいている「教え教えられる文化」は、当院の初期研修の魅力です。

臨床教育センター長 あいさつ

当院は、多くの研修医・医学生の皆さんから「若手医師の教育システムが充実している」と高い評価をいただいています。その理由を彼らに尋ねると、①症例が多彩で豊富、②救急疾患を多数経験できる、③救急現場でも上級医から懇切丁寧に指導してもらえる、④まず何でも診ることのできるgeneralistになるための教育を受けられる、⑤研修医に対するレクチャーが毎日のようにあって充実している、⑥研修医がみんな楽しく仕事をしながら切磋琢磨しあるいを高め合っている、⑦堺地域の現場で地域医療の現実や重要性を実感できる、などの答えが返ってきます。当院は、将来の日本の医療を担う高い志を持った研修医の皆さん、自ら考え、行動し、学び、そして何よりも、「患者さんのために自分は何をしてあげられるのか」という、医師を志したときの謙虚な気持ちを忘れない医師に育つよう、多職種のメンバーがチームとして全力で支えます。

臨床教育センター長 花房 俊昭



当院の臨床研修

“総合力のある医師”を
堺をあげてチームで育みます

2015年に新築移転した際にさらに幅広い診療科を開設したことにより、初期研修プログラムにおいては「広さ」や「深さ」を知ることのできる研修を可能にしました。また、必須研修となっている外来研修では、各専門内科のCommon diseaseから、臓器が特定できない疾患、複数臓器にまたがる疾患、無症候性の検査値異常まで、あらゆる主訴と出会うことができ、総合力を備えた研修医を養成する土壤を整えています。



当院の
基本方針

- 1) 良き社会人となる** ー 教え教えられる文化を大切にし、優れた人格を持つー
- 2) 良き医療人となる** ー 優れた人格を持つ医療人となるー
- 3) 良き医師となる** ー 地域の医療に貢献する、総合力のある医師となるー
- 4) 良き研究者となる** ー 世界の医学に貢献する、総合力のある医師となるー
- 5) 幅広い教養を身につけ、人生を楽しむ** ー 優れた人格を持つー



急性期医療を学ぶ

ACS、敗血症、呼吸不全、脳血管障害、術後管理などにチーム医療で取り組みます。

高度専門医療を学ぶ

がん、脳卒中、急性心筋梗塞など専門医療が必要な病気に対して、高度専門医療を実践します。

救急医療を学ぶ

年間9,300台以上と大阪随一の救急車受入数を誇る救命救急センターで、救急の現場を経験します。

災害時医療を学ぶ

災害時拠点病院として、必要な設備・機器を備え、患者さんの受け入れ訓練などを行います。

先輩研修医voice



「心強い先輩や指導医のもとで、将来を見据えた研修を受けられる」

初期研修医から当院の研修に参加し、後期研修も当院で研修を続けています。初期研修を通して、人は歳を重ねるごとに多くの身体の不調を抱えながら生活していることを目の当たりにし、診療する上で幅広い領域の知識と包括的な考察力が必要であることを痛感しました。当院では「ジェネラルマインドを持った医師の育成」を掲げており、各科の指導医の先生がその方針を理解した上で、研修医の目標をきちんと把握し、一人一人の将来を考えた指導をしてくださいます。そして何より心強い先輩たちが、とても近い存在として相談に乗っていただけるのは当院の特徴だと思います。

内科専攻医1年目 岸 具宏

堺市立総合医療センターの伝統である 「教え教えられる文化」

初期臨床研修が始まる前からある研修の理念であり、現在も“文化”として引き継がれている「教え教えられる文化」は当院が誇る伝統の一つです。

研修の中でつまずいた時には、助けられる人が教える、そしてまた別の機会には自分が助ける、そういう環境が当院にはあります。また、教えることは簡単ではありませんが、教えることが自分の学びにもつながります。この研修理念を胸に、初期研修医たちは日々の研修生活を送っています。



01 総合内科

当院には20年来の歴史のある、独立した病床をもつ総合内科を有します。基本的な病歴聴取、身体診察の取り方、基本的な検査の解釈など、グラム染色の実施と臨床現場の活用など、臨床医として重要なスキルを学ぶことができます。総合診療外来での研修では、総合内科スタッフが、幅広い愁訴の疾患への救急外来とは異なる診療アプローチについて指導しています。



02 シミュレーション教育

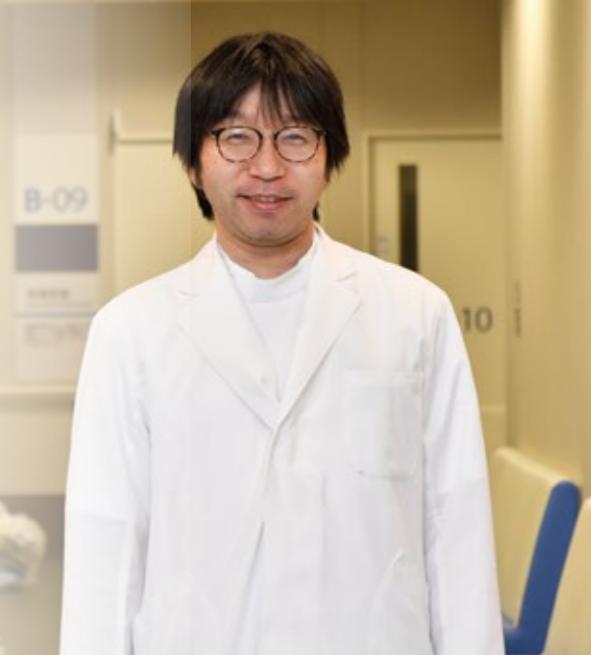
採血や筋肉注射、静脈留置針挿入、気道確保、縫合などの訓練用モデルで、患者さんに実施する前の訓練ができるシミュレーションセンター。手技だけでなく心肺蘇生や重症患者の初療など、臨床上、重要なだけ参加する機会が得にくい処置を人型中機能シミュレーターを用いて訓練できます。



プログラム責任者 あいさつ

当院は2004年の臨床研修必修化以前から、「教え教えられる文化」を大切に研修教育に力を入れ、総合的に患者さんを診る研修医の育成を重視してきました。一方で医療・医師の役割は必修化開始当時から大きく変わりました。外来研修教育の先取りや地域包括ケアの視点を重視した地域医療研修の実践など、時代の求める医師像を先取りするよう、常に教育内容をブラッシュアップしています。当院には地域の中核施設であるためさまざまな患者さんがいらっしゃいます。豊富なカンファレンスで指導好きの指導医に鍛えられ、同僚とは議論を重ねて共に高め合う。このような環境で、元気に頑張ってみたいと期待する皆さんと現場で一緒にできることを心待ちにしております。

プログラム責任者 北村 大



初期研修プログラム

臨床医に必要な経験ができる 質の高い研修プログラム

当研修プログラムでは、内科・外科・救急科・麻酔科・産婦人科・小児科の基礎となる臨床研修と、2年目の希望選択期間では、研修医の希望する診療科で研修ができます。各専門領域のレジデントスタッフ（上級医、指導医）による指導により、総合的に患者さんを診ることができます。医師を目指せる環境があります。



初期研修の基本プログラム

| | | | | | | | |
|-----|-------------------|-------------|---------|----------|---------|-----------|----------|
| 1年目 | オリエンテーション [2週] | 内科 [24週] | 救急 [8週] | 麻酔科 [4週] | 外科 [4週] | 産婦人科 [4週] | 小児科 [6週] |
| 2年目 | 地域医療 [4週] | 精神科 [4週] | | 希望選択科 | | | |



幅広い疾患を経験できる 内科研修

全員が総合内科と専門内科から2つ選択し、それぞれ8週ローテーションします。総合内科では各専門内科と協力して、実臨床で症例を診ていけるように指導。第一担当医として責任を持って入院患者の診療を行います。内科では、全内科スタッフを対象としたカンファレンスがたくさんあります。専門内科で研修中でも他の専門内科について学ぶことができます。内科医全体が、ジェネラルマインドをもった専門医あることが当院内科の大きな特徴です。



豊富なカンファレンス

| 堺市立総合医療センター内科 週間予定 | | | | | |
|--------------------|---------|---------|-----------|-----------|----------|
| 時間 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
| 7:30 | | | | | |
| 8:20 | | 抄読会 | | 退院症例検討会 | |
| 12:15 | | 救急症例検討会 | スタッフレクチャー | 救急フィードバック | 専攻医レクチャー |
| 16:30 | | | | 症例検討会 | |
| 17:00 | 内科レクチャー | | | | |

※内科合同の症例検討会や査読会、カンファレンスなどが充実しています。



高い臨床能力を修得する 各科研修

当院の外科、救急、麻酔科、産婦人科、小児科で臨床研修を26週間行います。各専門領域のエキスパートのもと、チーム医療を通して知識と技術を学びます。



外科

大阪府下でも有数の手術症例数と最新の医療設備を備えた研修環境で、熱意にあふれる外科スタッフが指導します。



麻酔科

手術室における実地研修を通して、循環呼吸などの全身管理を学ぶと共に、医師として必要な手技を身につけます。



救急

年間9,300台以上の救急車受入を行う現場で、指導医とともに診断のついてない初療を数多く経験できます。



産婦人科

妊娠に関する血圧管理などの内科的治療から、帝王切開などの外科的治療までバランス良く研修できる環境が整っています。



小児科

経験できる疾患・症例も多く、将来どの診療科に進んでも必要となりうる小児に関する知識と技術が学べます。



check!

実践力が身につく救急当直も
救急外来の当直は1年目のGW明けから始まります。多くの上級医に見守られながら、ファーストタッチに携わることで、救急の能力を獲得できます。救急に必要な知識を獲得できるレクチャーも通年で実施しています。

外来研修について

当院では外来研修を並行研修として内科・外科・小児科・地域医療のローテーション期間に行っています。幅広い愁訴への対応を主に病院での各科研修期間に経験し、地域医療研修期間中に、慢性疾患へのアプローチを学んでもらっています。

| 外来単位 | 40 | 4 | 6 |
|------|------|------|-------|
| 1年目 | 内科 | 救急 | 麻酔科 |
| | 2週 | 8週 | 4週 |
| 2年目 | 外科 | 産婦人科 | 小児科 |
| | 4週 | 4週 | |
| | 地域医療 | 精神科 | |
| | | | 希望選択科 |
| 外来単位 | 10 | | |



※半日外来研修=1単位として計算



学びたい診療科で研修できる 希望選択科

希望選択科では、下記の12診療科や、ローテートしなかった専門内科、必須でローテートした診療科から選択して研修が可能です。将来の希望やキャリアパスを考えて、自分だけの研修プログラムを形成できます。選択研修では、へき地医療の経験を積みたい方は、紀南病院(三重県)、瀬戸内徳洲会病院(鹿児島県)での研修も可能です。



精神科医療の理解を深める 阪南病院での精神科研修

2年目の4週間は、研修協力病院である「医療法人杏和会 阪南病院」の精神科で研修します。精神科救急から認知症、ストレスケア、児童精神といった精神領域すべてに即応できる体制が整う阪南病院で、期間中は指導医の陪席や、2週目から代診も担当し、しっかりとした指導のもと精神科医療を学びます。



専門性の高い
精神科医療を経験

外来実習以外にも、希望により終夜睡眠PSG検査実習や精神科救急実習を行うことが可能です。

check!

阪南病院の
WEBサイトはこち
ら



先輩研修医 Interview

初期研修1年目と2年目の先輩研修医に、
臨床現場で感じたことや学んだことについてうかがいました。



初期研修医
1年目
上野裕美子

同期と切磋琢磨しながら 新たな学びの毎日

総合内科では主治医として患者さんを担当しています。病気についてはもちろん、社会的な問題まで患者さんと一緒に考えていく中で、主治医としての自覚を持てるようになりました。また、問診の仕方や身体所見の取り方など、診察の基本を身につけることができます。レクチャー やカンファレンスが数多く開催されており、自分一人の勉強では身につけることのできない知識を得ることも。同期にも刺激を受けながら勉学に励んでいます。



上野Drの1日スケジュール

| | | | |
|--------|----------|--------|-------------|
| 8:00～ | 患者さんを診る | 15:30～ | 総合内科カンファレンス |
| 9:30～ | 新入院患者の診察 | 17:00～ | 画像レクチャー |
| 12:00～ | 症例検討会 | 18:00～ | 自己研鑽 |

Q 研修医になって
嬉しかったことはありますか?

A 堺では毎日が新たな学びの連続です。学んだことを活かして、治療方針を提案したり、退院を早めることができたりと、些細なことでもアウトカムを変えることができたと感じた時は嬉しいです。何より、それで患者さんが喜んでくださった時にこの仕事を就いて良かったと思えます。

地域医療の理解を深める 地域医療研修

堺市二次医療圏の地域特性に即した医療を理解し実践できる医師となるため、地域の病院やクリニックで研修を行います。堺の地域包括ケアに関わることで、切れ目のない体制を経験し、考える力を身につけます。

研修先の医療施設

A 療養型病院

南堺病院 ベルピアノ病院

B 開業医

臼井内科・消化器科クリニック 太田医院
つじもと内科クリニック 三谷ファミリークリニック
きららファミリークリニック
みさきファミリークリニック など

C 地域の様々な施設

保健所 ケアマネージャー 薬剤師会
訪問看護ステーション

| | 月曜日 | 火曜日 | 水曜日 | 木曜日 | 金曜日 |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 1週 | A | A | A | C | A |
| 2週 | A | A | A | C | A |
| 3週 | B | B | B | C | B |
| 4週 | B | B | B | C | B |

急性期病院
(堺市立総合医療センター)
療養型病院
(A／2週間)
開業医
(B／2週間)
在宅療養
(A,B,C)

第一担当医として 専門的治療にも参加

初期研修医2年目となり、脳神経内科をローテート中です。パーキンソン症候群などの神経難病だけでなく、救急外来で多いてんかんや脳卒中など疾患の偏りなく様々な分野の神経筋疾患を第一担当医として診療しています。日々の病棟業務の中では、神経診察や薬物治療、非薬物療法について多くを学ぶことができ、多職種と協力しながら、第一担当医として責任をもってそれぞれの医学的問題、社会的問題を把握する力も身につけることができています。



初期研修医
2年目
古田寛人

古田Drの1日スケジュール

| | | | |
|--------|--------------------|--------|--------------|
| 8:00～ | 患者さんを診る | 14:00～ | 脳神経内科カンファレンス |
| 8:30～ | 脳神経センター カンファレンス | 17:00～ | 内科レクチャー |
| 12:00～ | 症例検討会 | 18:00～ | 自己研鑽 |

Q 臨床実習以外で上級医から
学ぶ機会はありますか?

A 初期研修医が主体となって開催しているレクチャーでは、研修医自身がプレゼンを行う機会も多くあり、上級医からフィードバックを受けることができます。プレゼン力やアセスメント力などを磨く絶好の機会です。



充実したサポート体制

質の高い初期研修が実施できるよう、研修医をサポートする施設や体制が整っています。



Support01

学会やCPCでの発表の奨励

当院では学会発表を推奨しています。指導医の手厚い指導を受け、多数の受賞歴があります。CPCや学会発表で深く調べ、プレゼンテーションをする力を養います。発表内容を論文化するまで指導し、科学的な文章を書けるようになることまで目指しています。



Support02

院外講師・専攻医主催イベント

上級医のサポートのもと、教え教えられる文化の一環で自らの学んだものを外部の医学生・研修医に発表するイベントを毎年開催しており、多数の参加者を迎えています。院外講師をお招きし指導を仰ぐことも長年の伝統です。



Support03

充実のサポート体制

プログラム責任者の会議を毎週行い、コロナ禍での緊急的な調整などにも対応し、研修の質の担保に努めています。各科指導医とのサポートチーム会議では、各科研修の内容や研修医の研修状況を共有し充実した研修が送れることをサポートしています。メンター制度では、ちょっと上の世代の先輩が、不安や悩みを聞くことで安全な研修を送れるよう援助します。



Support04

職員宿舎、保育所のサポート

病院の目の前に2015年に新築した単身寮があり、光熱費以外は無料で住むことができます。出産された方は、当院の有する院内保育所にお子さんを預けることができ、仕事と家庭生活の両立をサポートしています。

Support05

メンター

初期研修医としての生活が始まり、やりがいを感じることも多い一方で、不安や悩みを抱えることもあります。そんな時でも、仲間や先輩とコミュニケーションを取りながら解決できるよう、初期研修サポートチームをはじめ、年代の垣根を越えて病院全体で初期研修医のサポートを行います。医師として、社会人として、初めての経験が多い中でも、安全に充実した研修生活を送れるよう、一緒に頑張っていきましょう。

INFORMATION 病院概要

総合内科／循環器内科／呼吸器内科／消化器内科／血液内科／心療内科／腫瘍内科／糖尿病・内分泌・代謝内科／脳神経内科／リウマチ膠原病内科／感染症内科／人工透析科／救急・総合診療科／救命救急科／消化器外科／心臓血管外科／呼吸器外科／乳腺内分泌外科／集中治療科／麻酔科／中央手術科／脳神経外科／整形外科／リハビリテーション科／泌尿器科／耳鼻咽喉科・頭頸部外科／皮膚科／形成外科／眼科／歯科口腔外科／小児科／産婦人科／放射線診断科／放射線治療科／病理診断科／臨床検査科／内視鏡科／遺伝診療科／予防健診科／緩和ケア科

病床数 487床(一般450床・救急救命センター30床・感染症7床)

日本内科学会認定教育施設／日本病理学会認定施設B／日本外科学会指定専門医制度修練施設／日本整形外科学会認定専門医研修施設／日本眼科学会認定専門医研修施設／日本消化器外科学会認定専門医修練施設／日本小児科学会認定専門医研修施設／日本泌尿器科学会専門医基幹教育施設／日本皮膚科学会認定専門医研修施設／日本産科婦人科学会指定専攻医指導施設／日本産科婦人科学会指定婦人科腫瘍登録施設／日本産科婦人科学会指定周産期登録施設／日本循環器学会指定循環器専門医研修施設／日本腎臓学会認定研修施設／日本アレルギー学会認定専門医教育研修施設／日本リウマチ学会認定教育施設／日本耳鼻咽喉科学会認定専門医研修施設／日本医学放射線学会認定専門医修練施設／日本呼吸器学会認定施設／日本血液学会認定血液研修施設／日本麻醉科学会麻酔科認定病院／日本消化器病学会認定施設／日本神経学会認定准教育施設／日本脳神経外科学会指定専門医研修施設／日本乳癌学会認定施設／日本口腔外科学会認定研修施設／日本消化器内視鏡学会認定指導施設／日本救急医学会認定指導医指定施設／日本救急医学会認定救急科専門医指定施設／日本臨床腫瘍学会認定研修施設／日本肝胆脾外科学会認定高度技能専門医修練施設B／日本放射線腫瘍学会認定協力施設／日本てんかん学会認定研修施設／日本臨床細胞学会教育研修施設／日本形成外科学会認定施設／日本気管食道科学会認定専門医研修施設／日本糖尿病学会認定教育施設／日本肝臓学会認定施設／日本透析医学会教育関連施設／日本周産期・新生児医学会周産期専門医(母体・胎児)暫定認定施設／日本脳卒中学会認定研修教育病院／日本がん治療認定医機構認定研修施設／日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会インプラント実施施設／日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会エキスパンダー実施施設／呼吸器外科専門医合同委員会認定修練関連施設／JCOG(日本臨床腫瘍研究グループ)研究参加施設／WJOG(西日本がん研究機構)多施設共同研究実施病院／日本乳がん検診精度管理中央機関 マンモグラフィ検診施設画像認定施設／下肢静脈瘤血管内焼灼術実施・管理委員会認定下肢静脈瘤に対する血管内焼灼術の実施基準による実施施設／日本医療薬学会認定薬剤師制度研修施設／日本医療薬学会認定がん専門薬剤師研修施設／日本医療薬学会認定薬物療法専門薬剤師研修施設／日本病院薬剤師会認定がん薬物療法認定薬剤師研修事業施設／日本病院薬剤師会認定HIV感染症薬物療法認定薬剤師養成研修施設／薬学教育協議会薬学生長期実務実習受入施設／日本静脈経腸栄養学会認定NST(栄養サポートチーム)稼働施設／日本栄養療法推進協議会認定NST(栄養サポートチーム)稼働施設／National Clinical Database参加施設／日本IVR(インターベンショナルラジオロジー)学会 専門医修練施設／日本心血管インターベンション治療学会研修施設／日本集中治療医学会 専門医研修施設／胸部ステントグラフト実施施設【暫定実施施設】／腹部ステントグラフト実施施設【暫定実施施設】／日本胆道学会認定指導医制度 外傷専門医研修施設

各種指定等

主な施設認定

地域医療支援病院／三次救急医療機関／地域がん診療連携拠点病院／災害拠点病院／臨床研修指定病院／エイズ診療拠点病院／日本医療機能評価機構認定病院／感染症指定医療機関(第一種、第二種)／大阪府難病診療連携拠点病院／DPC特定病院群

臨床研修指定病院／保険医療機関／地域医療支援病院／災害拠点病院／地域がん診療連携拠点病院／感染症指定医療機関(第一種、第二種)／日本医療機能評価機構認定病院／救急指定病院／エイズ診療中核拠点病院／国民健康保険療養取扱機関／労災保険指定医療機関／結核予防法指定医療機関／生活保護法指定医療機関／精神衛生法指定医療機関／母子保健法指定養育医療機関／特定疾患治療研究事業指定病院／小児慢性特定疾患治療研究事業指定病院／児童福祉法指定助産施設／母体保護法指定病院／身体障害者福祉法指定医療機関／児童福祉法育成医療指定医療機関／原子爆弾被害者一般疾病指定医療機関／戦傷病者特別援護法指定病院